

●節電促進キャンペーン「あなたの家庭の節電力を認定します。」の取り組み結果について

札幌市では、原子力発電に依存しない社会の実現を目指し、太陽光などの再生可能エネルギーの活用や、節電をはじめとする省エネルギーの取り組みを進めており、その一環として、節電促進キャンペーン「あなたの家庭の節電力を認定します。」を実施しました。

市民モニターに夏と冬にそれぞれ 3 カ月間、電力消費量の前年同月比マイナス 15%を目標に、節電にチャレンジしてもらった結果、夏、冬ともに、回答を得られた世帯（夏：359 世帯、冬：323 世帯）のうち、57%の世帯が目標を達成することができました。

市内の電力消費量の約 4 割が家庭におけるものであることから、札幌市では、これらの市民モニターが行った省エネ・節電方法について、パンフレットの作成やホームページへの掲載のほか、各種イベント等のさまざまな機会を捉えて広く周知するなど、引き続き、市民の節電・省エネ意識を高めるための取り組みを進めていきます。

1 節電促進キャンペーン（夏・冬）の取り組み結果について

	夏	冬
取組期間	3 カ月（8～10 月）	3 カ月（12～2 月）
節電目標	前年比マイナス 15%	
モニター世帯	500 世帯	516 世帯
有効回答数	359 世帯	323 世帯
節電達成状況	<p>(有効回答：359 世帯)</p> <p><平均削減率 13.1%> H22 年度 312 kwh/月→H23 年度 271 kwh/月 節電（節約）41 kwh/月（-943 円）</p>	<p>(有効回答：323 世帯)</p> <p><平均削減率 11.6%> H22 年度 415 kwh/月→H23 年度 367kwh/月 節電（節約）48 kwh/月（-1,104 円）</p>

2 効果的な取り組み事例

(1) 夏と冬の共通の取り組み

- ・ 使っていない部屋の明かりを消した。
- ・ テレビや冷蔵庫などの家電機器の使い方（明るさ・温度設定など）を工夫。
- ・ エコタップを使うなど使用しない家電機器のスイッチをこまめに消した。
- ・ LED照明を導入したほか、冷蔵庫を買い替えた。
- ・ 温水洗浄暖房便座の設定温度を下げた。

(2) 電力使用の多くなる冬特有の取り組み

- ・ 室温 20 度を目安にして節電・省エネに取り組んだ。
- ・ 厚手のカーテンで部屋の暖気を逃さないように工夫した。

<参考>

○ 節電促進キャンペーンの概要について

- ・ 平成23年8月から10月と、平成23年12月から平成24年2月までの3カ月間、それぞれ市民モニター500世帯を募集し、電力消費量が前年同月比マイナス15%を達成した世帯に対して、節電達成認定証としてウィズユーザーカード（500円券）を贈呈。
- ・ 期間中は、ワットチェッカーの貸し出しや相談窓口の設置など、目標達成に向けた支援を実施。

「節電達成認定証」（500円分のオリジナルウィズユーザーカード）



問い合わせ先

環境局環境都市推進部環境計画課 高田・大平

電話：211-2877